

一三二一又専修

「専修大学」ホームページ

http://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行
(定価一部90円)
発行所
専修大学広報課
〒101-8425 東京都千代田区
東神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

主なニュース

- 2 定年退職される先生方からのメッセージ……
- 3 卒業生・修了生へ「贈る言葉」学部長・研究科長・法科大学院長……
- 5 川島記念賞受賞者・大学院・法科大学院修了生総代……
- 6 専大で得たものは「卒業生・修了生」思い出インタビュー……
- 7 「石巻専修大学」被災地から坂田隆学長メッセージ/学位記交付……
- 12 北海道短大 卒業式/川島賞・学長賞受賞者/初の卒業パーティー……
- 13



「我等が行く手は 光に充てり」

学窓を巣立つ卒業生に専修大学校歌の一節を贈る。書家として活躍する仲川恭司文学部教授による揮毫だ。仲川教授は書の教育に力を注ぐ一方、国内外で作品を発表。毎日書道会理事、独立書人団理事長を務める。第1回手島右卿賞受賞。

創立130周年記念映画「学校をつくろう」の題字も同教授の作品。

復興の一翼を

学長が呼びかけ

2010年度の専修大式・学位記授与式の式典で、学位記交付が3月22日、神田キャンパスで行われた。

3月11日発生の東北地方太平洋沖地震とその後の災害により、日本武道館で実施予定だった卒業式、卒業生、大学院修了生、専門職大学院(法科大学院)の学位記授与式が中止となり、代表者への交付となった。

日高義博学長から学部卒業生、大学院修了生、専門職大学院(法科大学院)の学位記授与式が中止となり、代表者への交付となった。

3月11日発生の東北地方太平洋沖地震とその後の災害により、日本武道館で実施予定だった卒業式、卒業生、大学院修了生、専門職大学院(法科大学院)の学位記授与式が中止となり、代表者への交付となった。

神田キャンパスで総代に学位記交付



▲ 卒業生を激励する日高学長

院修了生の総代に学位記が授与され、川島記念賞が35人に贈られた。

日高学長は「志を立て、大きな夢の実現に向かって突き進むことは若者の特権であり、社会変革の原動力となる」とあいさつし、今回の震災についても「復興の一翼を担い、持続的な社会の発展に大

院修了生の総代に学位記が授与され、川島記念賞が35人に贈られた。

日高学長は「志を立て、大きな夢の実現に向かって突き進むことは若者の特権であり、社会変革の原動力となる」とあいさつし、今回の震災についても「復興の一翼を担い、持続的な社会の発展に大



▲ 文学部の交付風景(生田キャンパス9号館)



▲ 各学部長が川島賞受賞者に学位記を授与



▶ 大学院学位記交付(壇上は原田博夫(経済学研究科長))



▶ 修了生一人ひとりと握手する石村修(法科大学院長)



横断幕を手に募金活動をする早水良さんら専大生



この募金は、ユニセフを通じて被災地に贈られる。

被災地の子どもたちが心配

学生有志35人が街頭募金

S・I・Aと経済・飯沼ゼミ生ら

「協力をお願いしました。」

「未曽有の被害をもたらした東北地方太平洋沖地震とその後の災害。被災地の子どもたちを助げたいと、専修大学の学生有志が立ち上がった。」

「被災地の状況が伝わります。なんとかしなくては」と思いました。物資は徐々に届いているようですが、被災した子どもたちの精神面がとても心配です」と早水さん。所属する国際協力をテーマ

当日は、朝から雨が降りしきり、真冬に逆戻りしたような寒い一日だったが、学生たちは、足早に通るすぎる乗降客や行人に、懸命に声をかけた。「がんばってね」「小銭で申し訳ないけれど」などたくさん励まし、5時間で60万9026円の善意が集まった。

「東北地方太平洋沖地震」で被災された皆様へ

学校法人専修大学理事長 日高 義博

このたびの東北地方太平洋沖地震で被災された皆様、幸い校舎の損傷はそれほど大きなものではありませんが、大学の所在地である石巻市は津波による甚大な被害を受けました。現在、電気は復旧したもののライフラインの再構築はまだ十分なものとはなっておりません。

石巻専修大学は、幸い校舎の損傷はそれほど大きなものではありませんが、大学の所在地である石巻市は津波による甚大な被害を受けました。現在、電気は復旧したもののライフラインの再構築はまだ十分なものとはなっておりません。

「被災された皆様へ」

被災された皆様へ、安全と平穏な生活が訪れますよう心からお祈り申し上げます。被災地の復興を切に願っております。